

埼玉工業大学が公道で 自動運転実証実験を開始します

平成29年12月1日（金）から平成31年3月31日（日）まで



図 1: 公道実験を行う道路
(赤く色のついている道路で実施します)



図 2: 公道実証実験車両（トヨタ プリウス改造車）

現在の実験車両は、トヨタプリウスの改造車です。エンジン始動・停止、シフトの切替、操舵、制動、駆動、その他周辺機器を、コンピュータを介して操作することができます。実証実験では、車体の内部や上部に、実験内容に応じた様々な装置を法律の範囲内で取り付けて自動運転を行います。

現在、自動運転技術の研究開発がメーカーや大学などで活発に進められています。埼玉工業大学でも自動運転技術の研究開発を行っており、最先端の技術を学びながら、学生一人ひとりに「自分が変わる物語が始まる」きっかけをつかんでもらうことを目指しています。そして、活力あるまちづくりに貢献できる若者を一人でも多く育て、市の発展に貢献

①まちづくりに貢献できる

人材の育成

目的

埼玉工業大学は、深谷市のご協力のもと大学周辺の公道で自動車の自動運転に関する実証実験を行なわせていただきます。安全管理には万全を期して実施しますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

することを目的としています。

②高齢化社会に向けて

快適な自動運転技術の開発

市内外の企業や研究機関との連携を広げ、自動運転車をはじめとした新たな移動サービスを、市民の方々にどのように提供していけばよいか、まちづくりができるか検討し、深谷市のまちづくりに役立つ自動運転関連産業の育成を図ることを目的としています。

実験場所

埼玉工業大学周辺の道路で行います。なお、実証実験の進捗状況によって、再度告知を行った上で走行路線を変更する場合があります。（図1参照）

安全性について

- ①自動運転中の運転席には、運転免許を持ち、自動運転システムを十分に理解した運転手が、ハンドルに手を添えながら乗車します。
- ②車両は運転手の運転操作を最優先に設計されているので、一般的な車両と同様な安全性が確保されています。
- ③警察署や道路管理者などヘルートの説明・事前連絡の上、実施します。

本実証実験は、警察庁が定めた「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」に従って実施します。